

## 第二回 研究集会

# 年少者日本語教育学を考える会

平成 17 年 2 月 27 日

早稲田大学 22号館にて

お申し込み先 y\_ogi@ruri.waseda.jp

※氏名・所属・連絡先をお知らせください

1 開会 午後1:00~1:10 (202教室)

2 ケース・パネル 午後1:10~2:45 (202教室)

<p>南米出身の子どもに対する日本語学習支援活動を支える人・もの・関係性</p> <p>—— 学校外教育の実践事例から ——</p> <p>■ 発題者 ■</p> <p>山野上 麻衣 (浜松市カナリーニョ教室指導員) / 坂田 麗子 (早稲田大学大学院生)</p> <p>■ ディスカッション ■</p> <p>石井恵理子 (東京女子大学)</p> <p>■ コーディネーター ■</p> <p>野山 広 (国立国語研究所)</p>
--

3 口頭発表 午後3:00~5:00

	第一会場 (201教室) 進行:齋藤ひろみ	第二会場 (202教室) 進行:池上摩希子	第三会場 (203教室) 進行:川上郁雄
① 午後 3:00 ~ 3:25	JSL児童の漢字指導における模索と新たな実践の試み◆武蔵祐子 (早稲田大学大学院生)	在籍学級での学習参加を目指してー国際学級におけるトピック型日本語教育の試み◆菅原雅枝、高橋悦子 (川崎市日本語指導等協力者 JSL カリキュラムプロジェクト)	国語物語教材のリライト◆村山勇 (神戸市立本山第二小学校)
② 午後 3:30 ~ 3:55	子どもクラスにおける「書くこと」の指導◆大上忠幸 (中国帰国者定着促進センター)	日本語力の異なる児童が共に学び合う教室づくりー学びのためのコミュニケーション力を育む◆小池愛 (早稲田大学大学院生)	異文化体験を高校入試の力にー2人の高校受験生の入試作文対策を通じて◆滑川恵理子 (横浜国立大学院生)
③ 午後 4:00 ~ 4:25	『JSL バンドスケール』への提言ー活用と普及にむけて求められるもの◆渡辺啓太 (早稲田大学大学院生)	埼玉県のJSL児童・生徒の進路選択◆浅見友博 (富士見市日本語サークルボランティア)	海外の年少者に対する言語文化教育とはークイーンズランド州日本語シラバスとその実践研究から◆山田裕子 (早稲田大学大学院生)
④ 午後 4:30 ~ 4:55	言語技術の習得を軸にした内容重視のアプローチによる日本語指導ー小学校国語科における説明的文章の読解及び作文を通して◆逢坂隆 (東京都武蔵村山市立第三小学校)	年少者日本語教育におけるスクヤフオールディングの研究ーJSL 生徒の統合的適応を支援するために日本語教育は何ができるか◆齋藤恵 (早稲田大学大学院生)	

4 閉会 午後5:00~5:30 (202教室)